

(1) 水需要予測

2

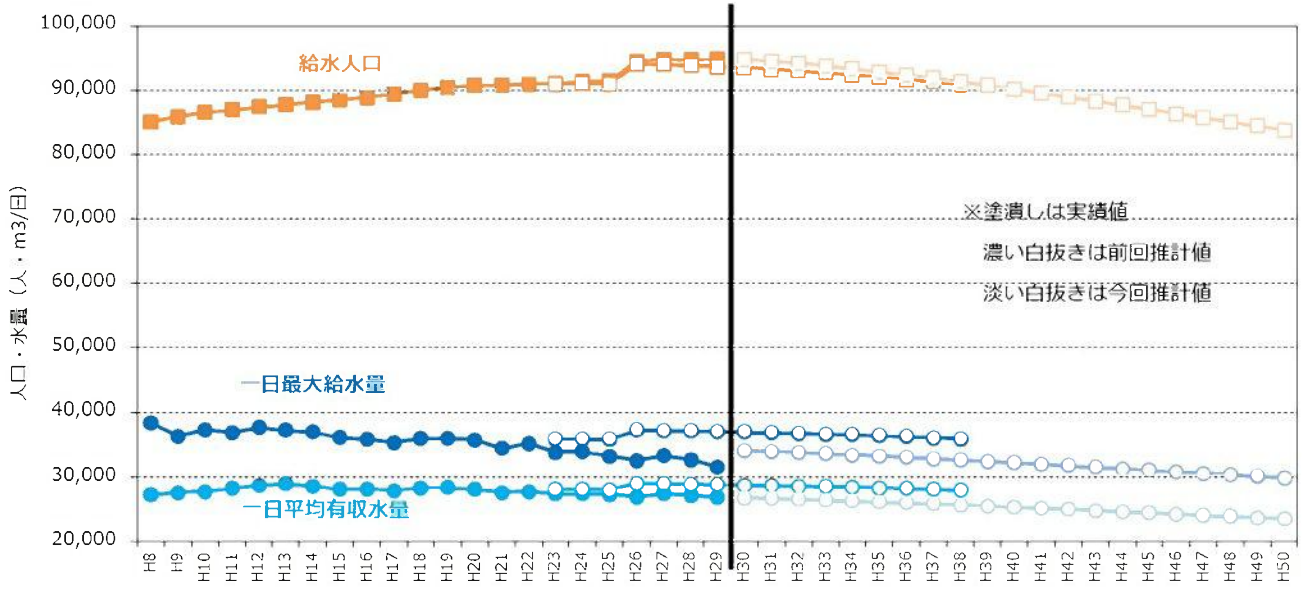
予測手法

- ✓ 給水人口の推計は、国立社会保障人口問題研究所の最新の推計結果（平成27年国勢調査に基づく平成30（2018）年推計）
→コーホート要因法による推計
- ✓ 有収水量は、用途別（生活用、業務営業用、工場用、その他）に予測
- ✓ 一日最大給水量は、有収水量にもとづいて、有収率と負荷率による予測

3

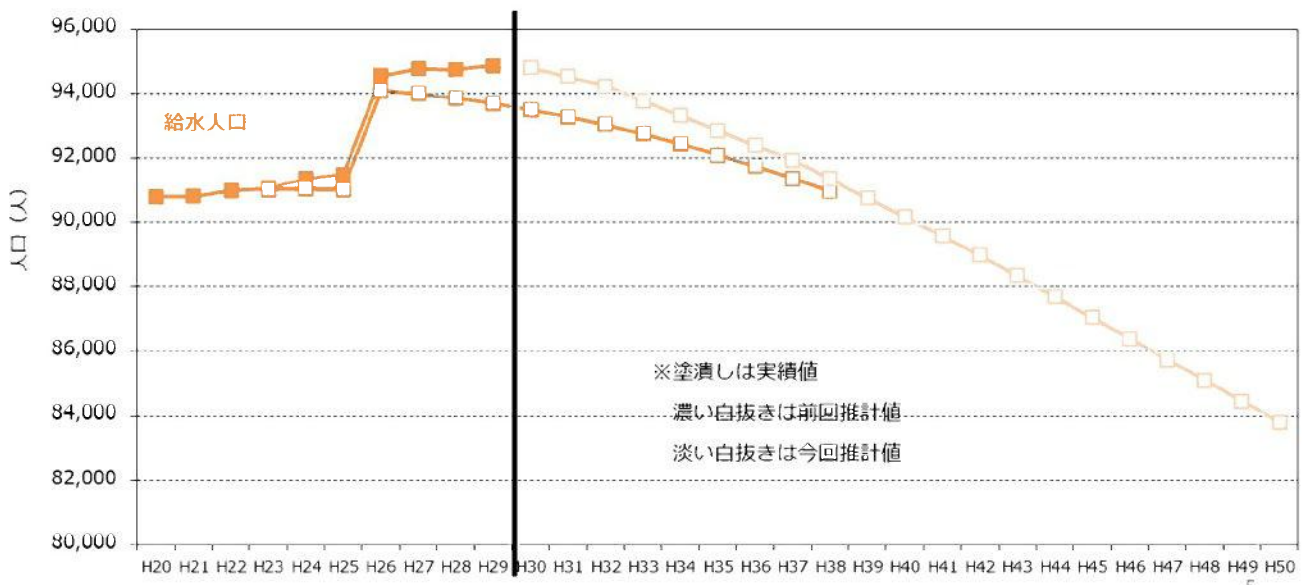
水需要の見通し

✓ 人口、水量ともに減少傾向は継続する見通し



✓ 給水人口 (江南団地含まず)

現在の約95,000人から、10年後には約3,500人減少して約91,500人に、20年後にはさらに約7,500人減少して約84,000人となる。



✓ 有収水量は、現在の約27,000m³/日 から、10年後には約1,500m³/日 減少して約25,500m³/日 に、20年後にはさらに約2,000m³/日 減少して約23,500m³/日 となる。

